

アンケート
「コロナ後の共生社会を支える教育を考える」

集計結果

2021年11月14日

一般社団法人 大学女性協会 企画委員会

新型コロナウイルス感染症は教育現場に大きな影響を与えました。多くの教育現場が**オンライン学習**を導入し、「**教育のデジタル化**」が一気に進みました。

一方、家庭環境における「**デジタル格差**」や、「**デジタル教材**」の問題も急速に表面化しました。

また、図らずも、**世界各国のデジタル化の進捗状況**の実態が露呈された感があります。この“**デジタル化**”という言葉は、今後の社会発展のための重要な指標となってきました。

昨年、行った「コロナ禍の現況アンケート」でも、この「教育のデジタル化」という問題について、期待と不安の入り混じった回答が多く寄せられていました。

そこで、今年度のセミナーのテーマに合わせ、**教育界でのデジタル化に関わる諸問題**について、みなさまの**意見集約**のためのアンケートを2021年9月に、実施いたしました。

回答をお寄せくださった皆様に深く感謝いたします。

「アンケート調査」をめぐる新型コロナウイルス感染症の経過説明

2020	1.16	新型コロナウイルス感染症の日本で初の感染者判明	
	2.27	3.2から全国の小中高校の臨時休校要請	
	3.24	東京オリンピックの延期発表	文科省より「学校再開のガイドライン」
	4.7	7都府県 緊急事態宣言。5.25 解除	
	6.1	学校の再開 (98%)	本格的再開は6月1日以降 23都道府県
	8末	JAUW「コロナ禍における現況調査」(未曾有な状況下で起こっていること、感じていること)	
2021	1.8	4都府県に2.7まで緊急事態宣言。3.21 解除	
	2.17	医療従事者にワクチン接種開始	
	4.12	65歳以上の高齢者にワクチン接種開始	
	4.25	4都府県に緊急事態宣言。6.20まで延長	
	7.12	東京都緊急事態宣言。10.1 解除	
	9末	JAUW「コロナ後の共生社会を支える教育を考える」(1年半の経験からの感じていること、意見)	

大学の状況：5月時点では、約9割の大学等が全面的に遠隔授業を実施していたが、

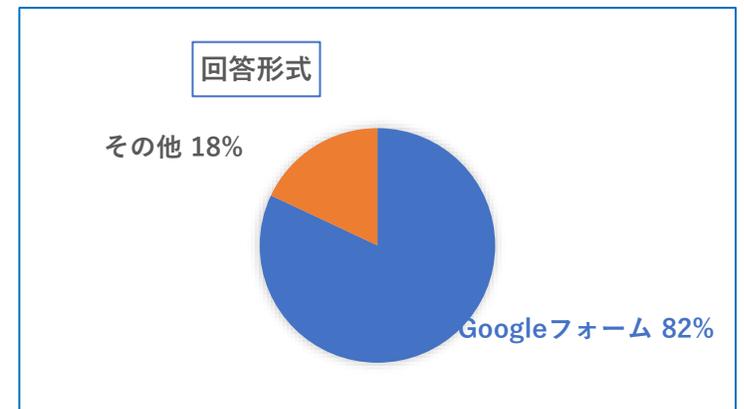
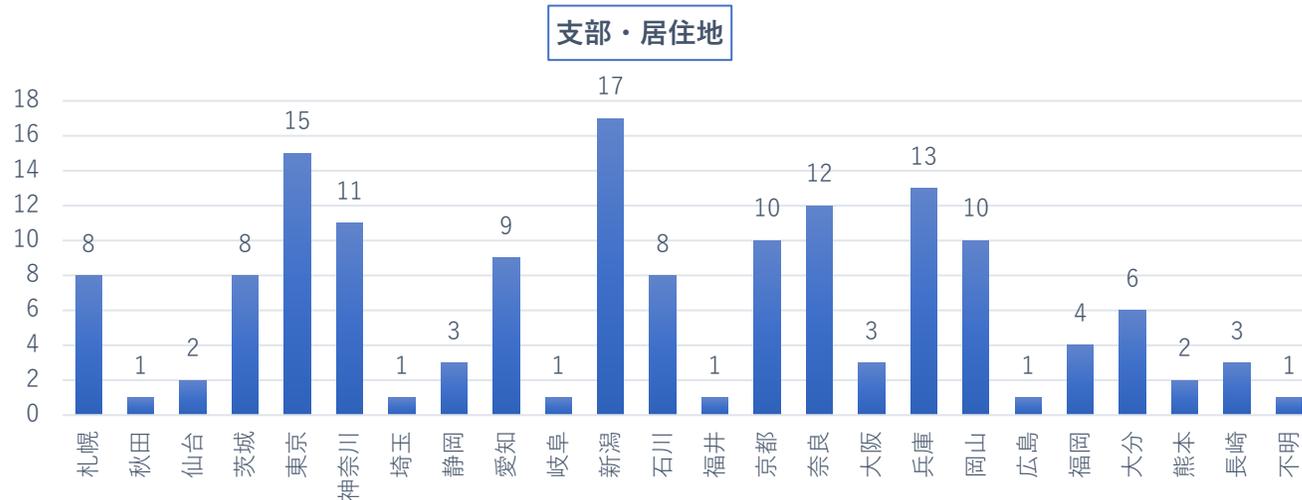
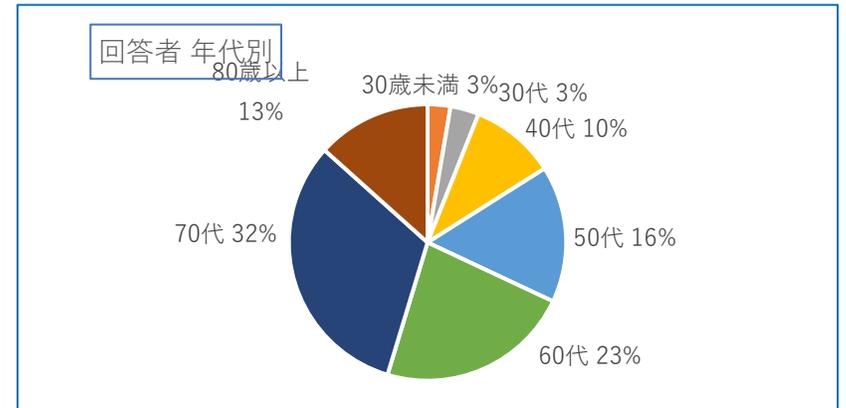
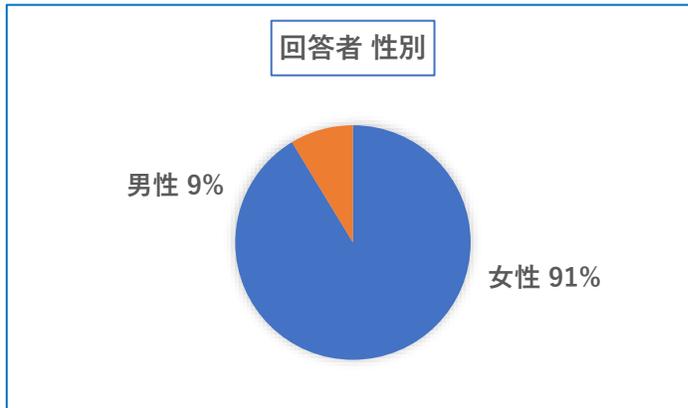
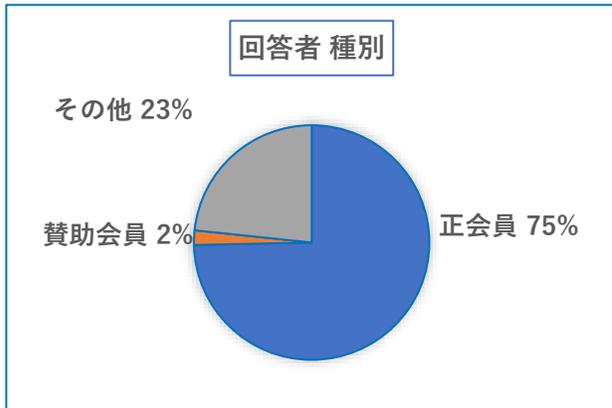
7月1日時点では、約6割が対面・遠隔授業を併用して授業を実施。

対面授業のみの大学等、遠隔授業のみの大学等は、いずれも約2割。(文科省HPより)

NII(国立情報学研究所)：2020年「4月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム」～

現在：大学等におけるオンライン教育とデジタル変革に関するサイバーシンポジウム「教育機関DXシンポ」

【回答者の状況 ①】 回答総数 150名



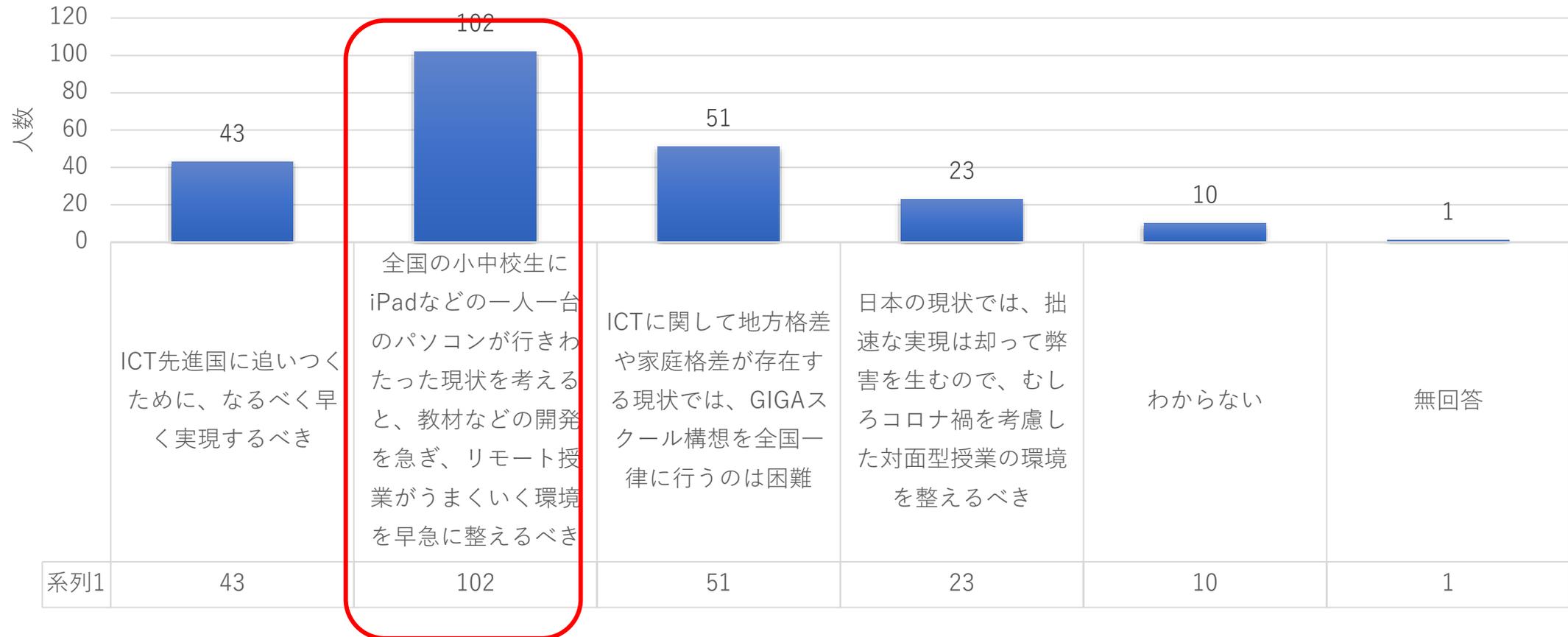
【回答者の状況 ②】

小中高教師（含非常勤）	41	27.3%
専門学校・各種学校教師（含非常勤）	13	8.7%
大学・高等専門学校教師（含非常勤）	49	32.7%
研究職（含民間）	11	7.3%
公務員	15	10%
会社員	20	13.3%
技術職	4	2.7%
会社役員	7	4.7%
自営業	15	10%
その他	21	14%
無回答	9	6%



【GIGAスクール構想について】

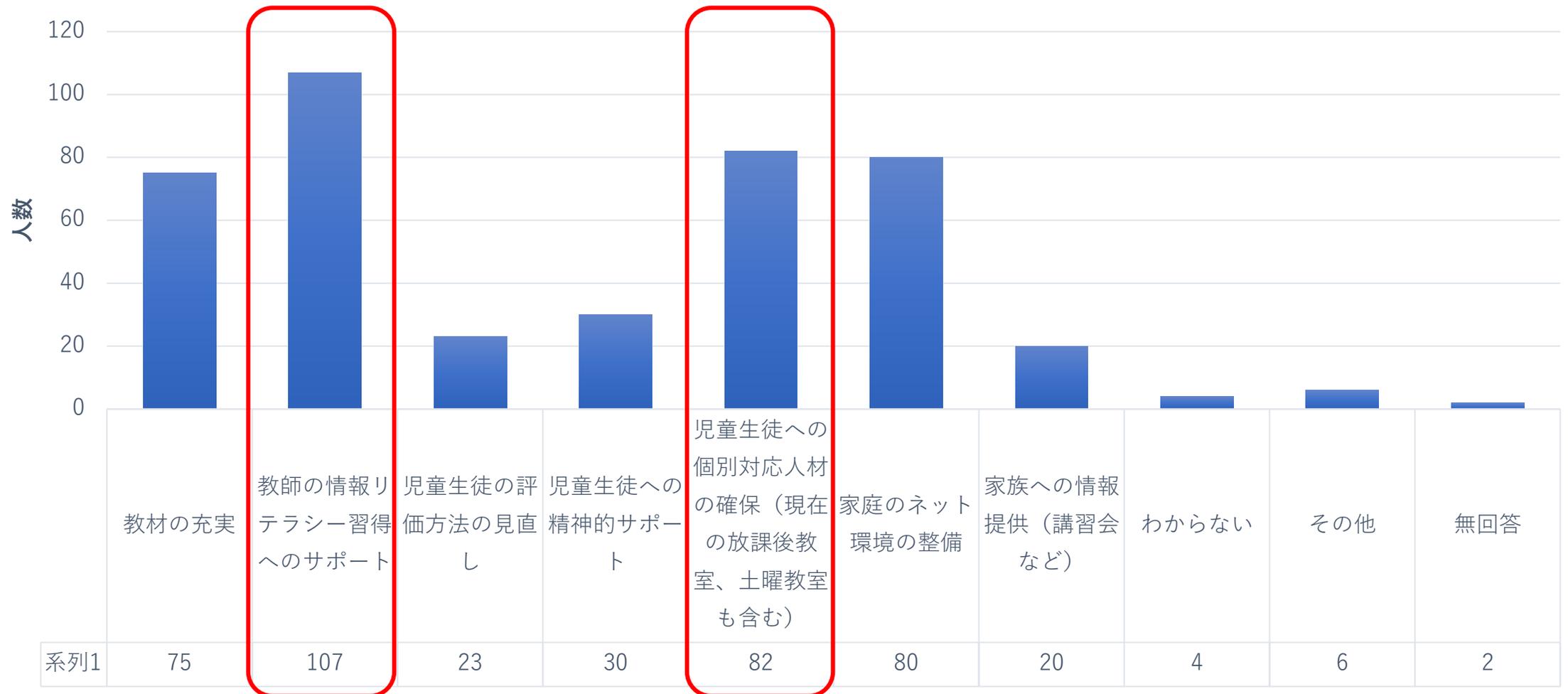
設問-1. GIGAスクール構想についてのあなたの考えはどれですか。（回答総数 230）



設問-2. GIGAスクール構想を実現する上で、優先度の高いものはどれですか。

(三つまで選択可)

(回答総数 429)



設問-3. GIGAスクール構想について意見があればお書きください。

回答数 42

格差

地域格差、経済格差、
学力格差

対 教師

デジタル能力を向上させる研修を
教材作成によるオーバーワーク

対面授業

今まで以上の充実

お寄せいただいた意見から抜粋

構想自体はこれからの学校教育環境に必要なものであると思うが、それを実施する主体者（教師・生徒・保護者・＜文科省＞）に教育の本来の目的や目標について十分な理解とコンセンサスが前提となると考える。

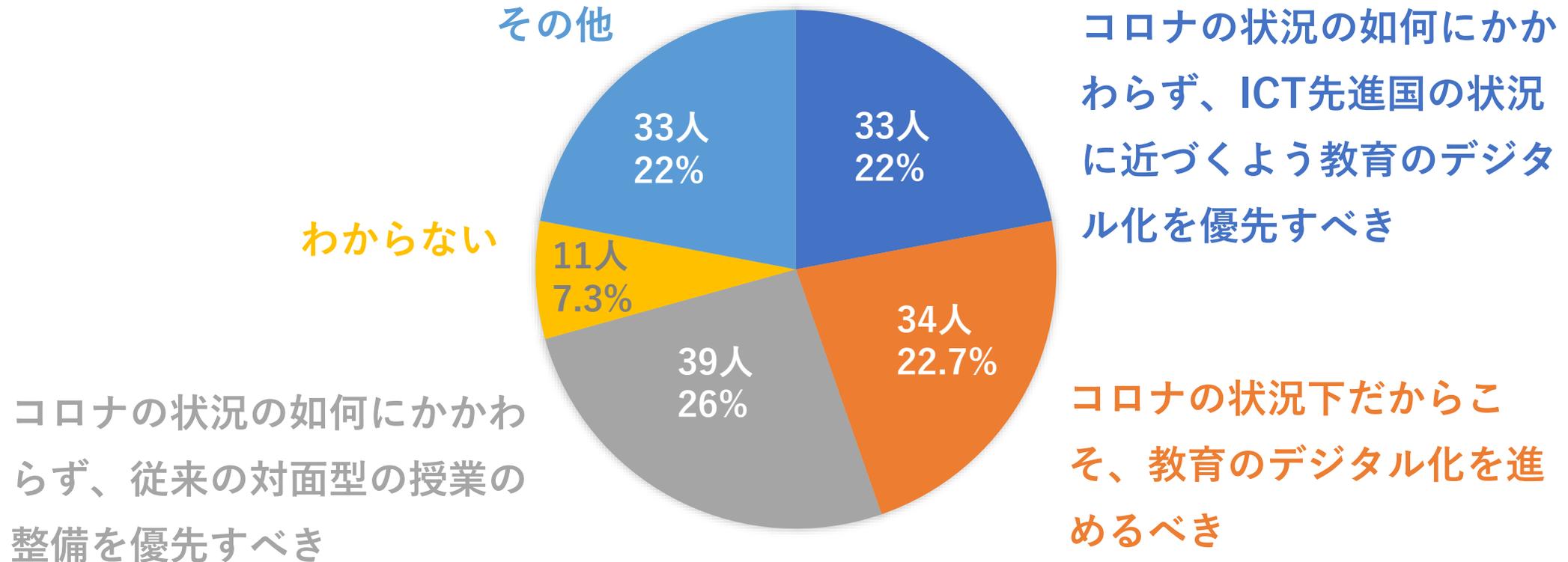
構想そのものについては反対ではないし、そのような方向に世界が進んでいくのだと思うが、ぜひ「一人も見捨てない」ことを忘れず、また、構想の遂行そのものが目的化しないように、さらに特定の業界や政治家・官僚等の利権につながらないように注意することが必要。

日頃から従来通りの対面授業とオンライン授業をバランスよく取り入れた教育構想がこれからの時代には必要だと思う。

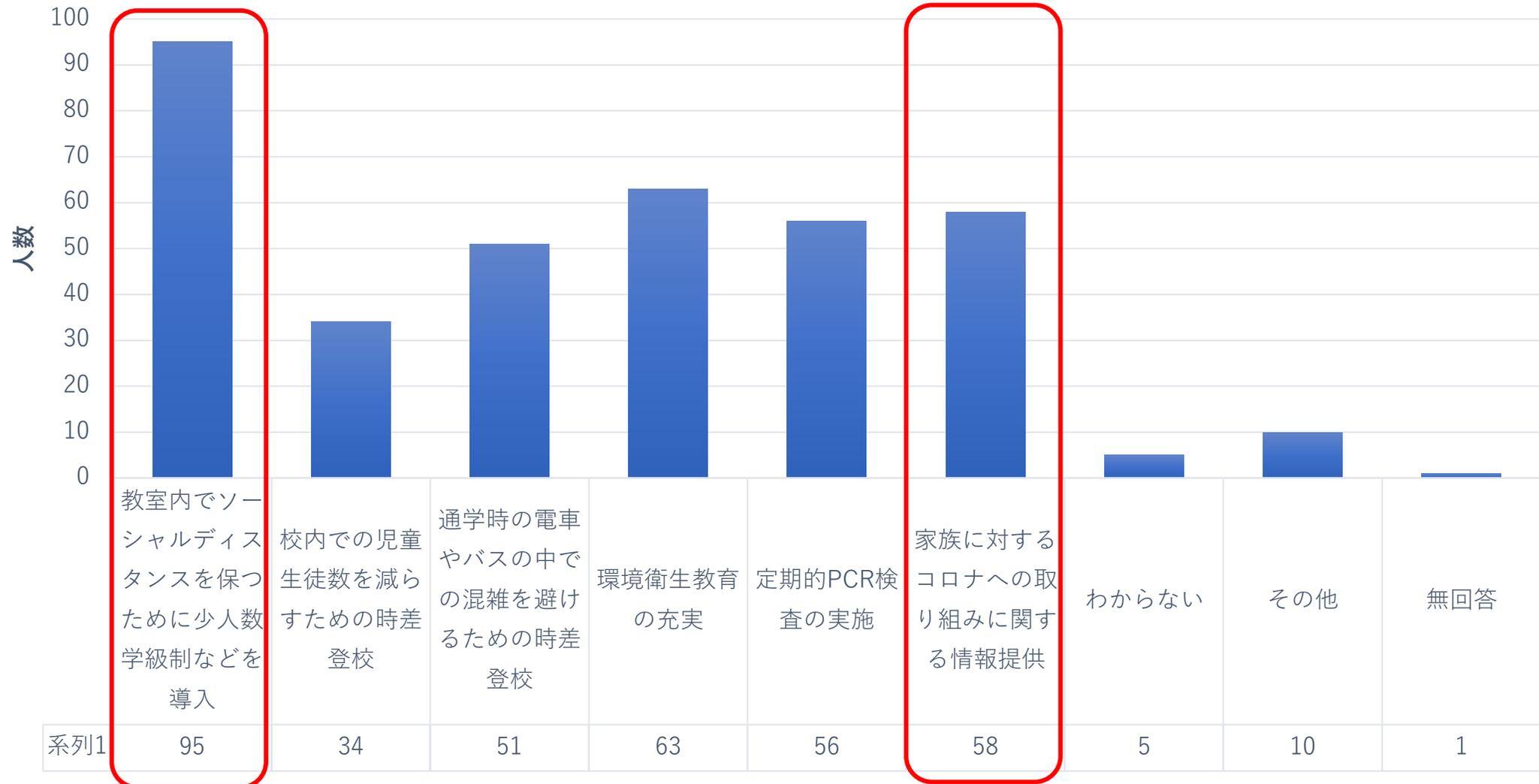
義務教育段階での養育では、丁寧な少人数教育を実現するのが第一で、政策結果が見えるための教育構想は賛成できない。

【従来の対面型授業への取り組みについて】

設問-4. GIGAスクール構想にも表れているような教育のデジタル化推進に対し、むしろ従来の対面型授業の環境の整備を優先すべき、という意見があります。あなたはどの意見に賛成ですか。（一つ選択）

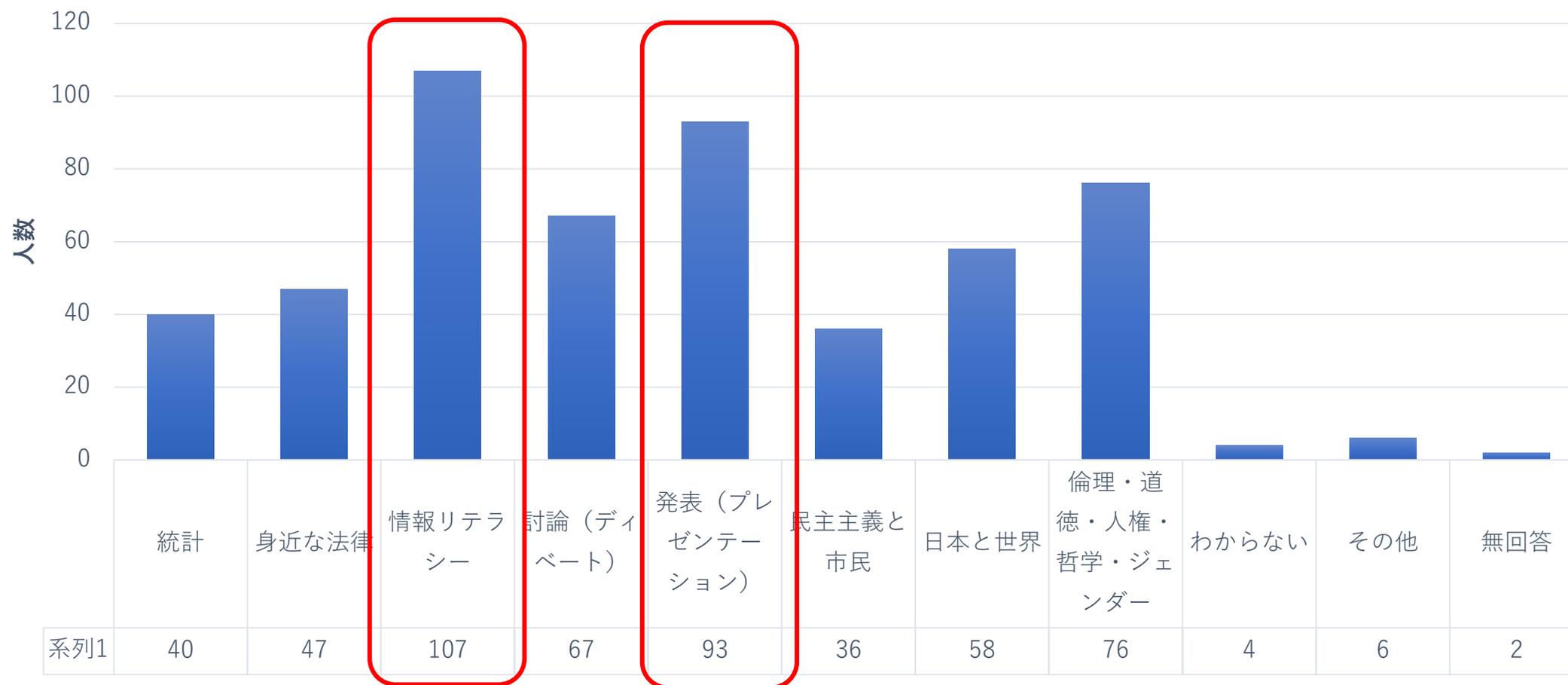


設問-5. コロナ禍を乗り越えるための学校環境の整備で必要と考えられるものはどれですか。
(複数回答可)



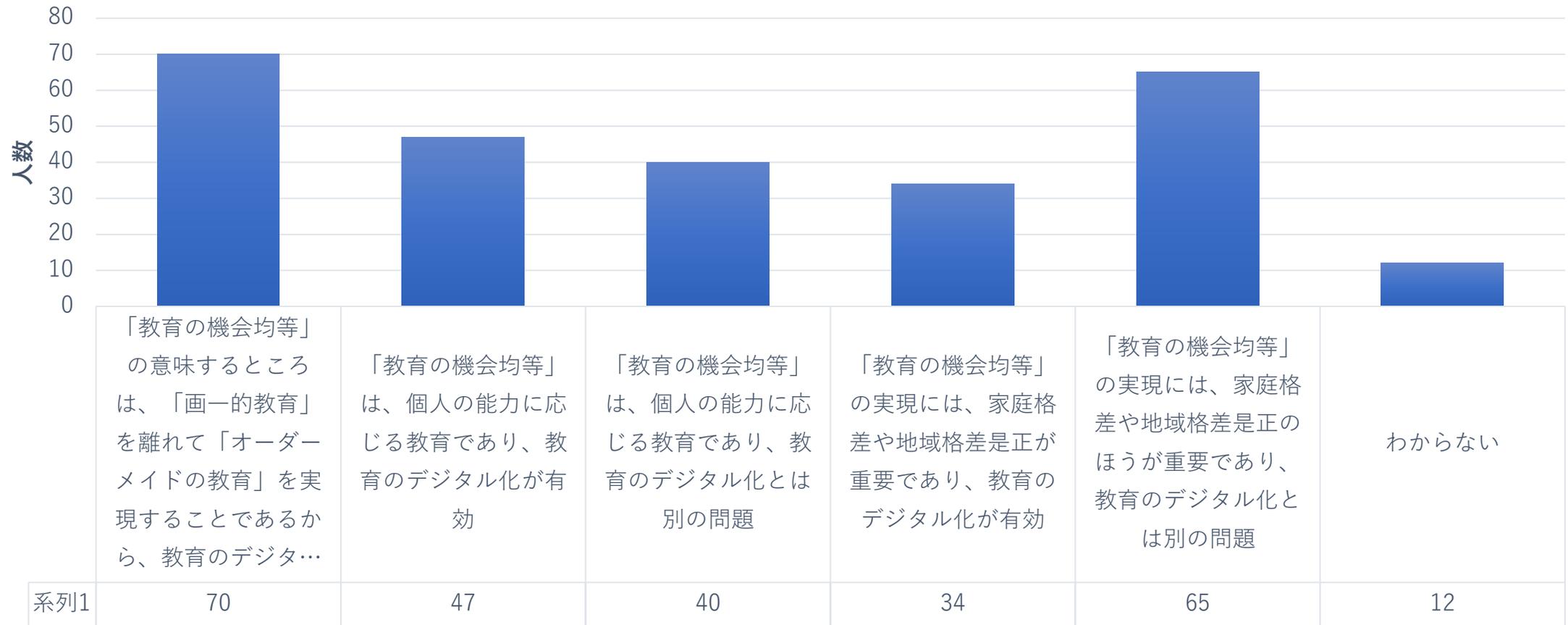
【デジタル教育化が推進された場合、 小中高校で積極的に取り入れたい学習内容について】

設問-6.どんな学習内容を取り入れるべきだと考えますか。（複数回答可）



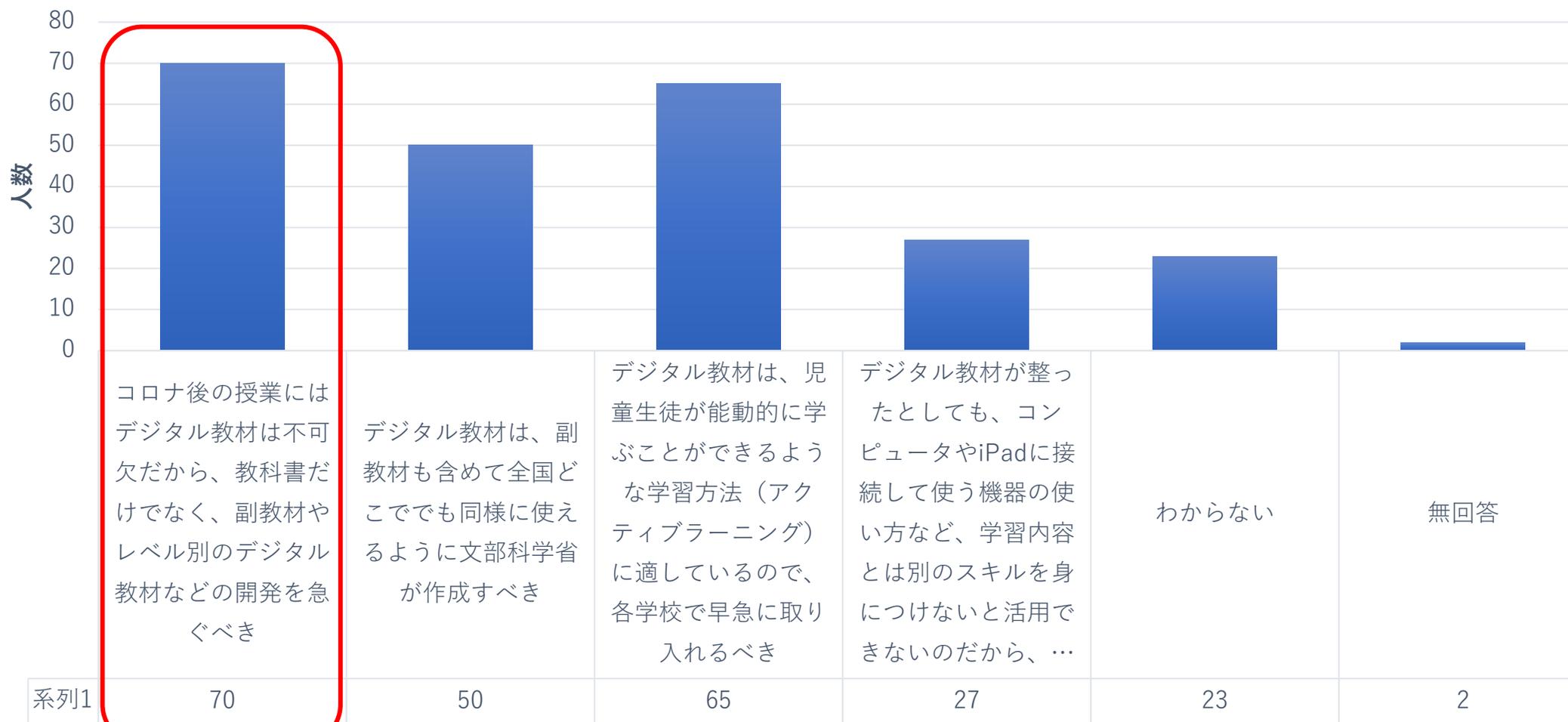
【教育の機会均等への取り組みについて】

設問-7.教育の機会均等と教育のデジタル化の関係についてあなたが共感するのはどれですか。
(複数回答可)



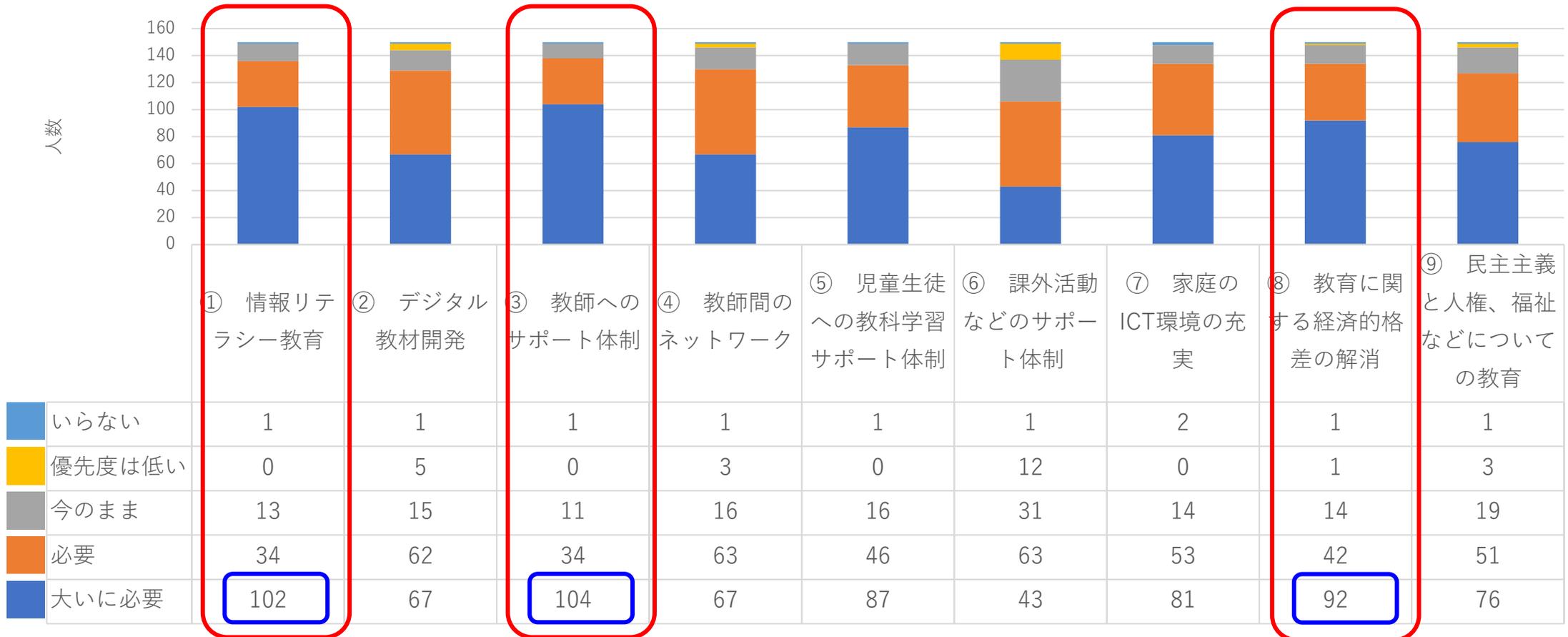
【デジタル教材について】

設問-8. 以下であなたが賛成できる項目はどれですか。（複数回答可）



【従来の対面型授業への取り組みについて】

設問-9.2020年1月に始まったコロナ禍のもとでの教育現場の変遷を見てきましたが、コロナ後の共生社会を支えるデジタル教育を考える際に、以下の事柄はどの程度必要だと思いますか。（一番近いものに○）



【コロナ後の教育の方向性について】

回答数 75

設問-10.政府に望むことなども含めて自由に意見をお書きください。

お寄せいただいた意見から抜粋

約10年前に韓国でICT教育が取り入れられた後も、子どもたちの成長に、様々な弊害が認められ、また、ITの最先端と言われるアメリカシリコンバレーなどでは、テックフリー教育が主流になってきているという流れもあるように、子どもたちに早期のICTを取り入れることには、慎重さが必要になるかと思えます。

もしも、これからの未来を考えるとときに、子どもたちへの導入が必要不可欠となってしまふなら、乳幼児期（小学校入学前）や小学生の間は、ICTを使う以上に、体全身や五感を使った外遊びや、創造的な遊びを取り入れて、しっかりと身体と心を育むことができるように、それぞれの地域で十分な配慮を行うことが必要不可欠になるかと思えます。

とくに、最近では、子どもと遊べる時間や場所を探すことがとても困難になっているご両親のためにも、地域での取り組みが必要かと思えます。

現在、IT系の仕事をされる方には、心身の体調をくずされる方がとても多いとお聞きします。これからの未来を担う子どもたちにそのようなことが起これば、国の行く末に関わる一大事になります。国の方向性を考えられる方には、ぜひ、そのような配慮もいただきながら、方向性を考えていただけると幸いです。

ご清聴、ありがとうございました。

報告者 企画委員会 嶋田君枝